

令和6年度
トレーナー研究集会
資料集



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

～目 次～

令和6年度トレーナー研究集会にあたって	1
---------------------	---

【日本連盟伝達事項】

資料1：令和6年度指導者養成関係事業の主な取り組み報告	2
1. 第3期中長期計画から	
2. 指導者の質を高めるため指導者養成体制の充実を図る	
資料2：令和7年度指導者養成関係事業の取り組み予定（案）	5
1. 隊・団指導者に向けた支援を効果的に展開する	
2. 指導者訓練の実施	
3. 日本連盟トレーニングチームの充実	
資料3：実修所の第三教程の履修の流れの改訂	8
資料4：日本連盟開設コース 第三教程履修状況一覧	12

【研究資料】

資料5：令和6年度トレーナー研究集会 研究テーマ	14
資料6：トレーナーとしての「訓練」と「任務中の支援」の理解	15
資料7：「任務中の支援」と「トレーニングにおける支援」について	16

【参考資料】

・日本連盟トレーナー年齢別一覧（令和7年1月1日現在）	17
・日本連盟トレーナー内訳グラフ（令和7年1月1日現在）	18
・令和6年度隊・団指導者上級訓練第二教程 および成人指導者訓練コース基本訓練履修状況	19
・加盟登録状況表（令和6年12月31日付）	24

令和6年度トレーナー研究集会にあたって

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

トレーニングチームディレクター

藤田五郎

平素より日本連盟トレーニングチームの皆様におかれましては、各種指導者訓練および個別支援等のご奉仕を賜り、厚く御礼を申し上げます。

令和6年は、私たちに能登半島地震をはじめとする自然災害の厳しさと、それに立ち向かうための結束の大切さを改めて教えてくれた一年でした。多くの地域で自然災害が発生し、多大な被害をもたらされましたが、ボーイスカウトとしての復興に向けた努力と支援の輪が広がり、地域の絆と再生の力を感じる場面が数多くありました。

令和7年は、ボーイスカウトの理念を次世代に継承し、地域社会に貢献するスカウト・指導者を育てる使命を、共に力強く果たしていきたいと思っております。そのためには、私たち自身が「学び続ける姿勢」を持ち、トレーニングと支援の在り方を柔軟に見直し、新しい時代のニーズに応える力を高めていくことが求められます。

中長期計画を踏まえた指導者のトレーニングにおいては、時代に即した柔軟な研修方法の模索、参加者の意識向上、そして全国的なトレーニングの質の均一化と向上などが挙げられます。特に、昨今の社会環境の変化に対応するためには、単にスキルを伝えるだけでなく、指導者のスカウティングの本質的特徴に基づいた価値観や使命感などの心構えを醸成するトレーニングが求められています。そこで、今年度の研究集会では、「eラーニングを活用したボーイスカウト講習会の展開」「課題研究や個別支援などへの支援の進め方の研究」「各ブロックにおけるトレーナーの資質向上のための研究」に取り組んでいただきます。今回の研究の成果が今後の各地でのトレーニングの場面で活用され、次世代を担う指導者を共に育てていくことにつながる研究になることを期待しております。

本研究集会を通じて、皆さまが新たな発見や気づき、そして今後の活動への意欲と熱意を持ち帰ることができることを心から願っております。そして、現場でご努力をいただいている指導者、またスカウトのために実りあるものになるよう、お取り組みいただきたくお願いいたします。

最後になりましたが、長年にわたりトレーニングチームを支えてくださった退任されるトレーナーの皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまが築かれた功績と、指導者訓練に込められた情熱は、これからもチームの礎となり続けます。今後もスカウトや指導者のためにご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度指導者養成関係事業の主な取り組み報告

1. 第3期中長期計画から

第3期中長期計画を踏まえ、今後の指導者養成体制について主に以下の点について協議と研究を進めている。

(1) 現代的手法を取り入れたトレーニングの開発

現在のボーイスカウト講習会を、eラーニングでの事前研修+集合研修（半日）という形で構築した。令和7年度より各県連盟の状況に合わせて、eラーニング併用半日型と一日型を選択して実施していくようにする。

(2) ① 隊指導者の必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、ボーイスカウト活動の楽しいプログラム展開をすべての部門において展開できるよう、指導者への支援と指導者自身が必要とされる支援強化を進める。

- ・ 指導者定型訓練の充実（ウッドバッジ実修所所長研修）
- ・ 隊指導者基礎訓練、上級訓練における支援方法の研究
- ・ 第三教程における所長所見の導入と修了後の経年評価の実施に向けての研究

(2) ② 団組織の強化推進支援

スカウト運動の成人に関する方針に則った団委員会の任務の整理などを全団調査結果や追補資料を活用し、団運営と任務中の支援を理解し、団内指導者への直接的な支援を行えるよう、団委員長への支援強化を進める。

- ・ 指導者定型訓練の充実（団委員実修所所長研修）
- ・ 団委員基礎訓練、上級訓練における支援方法の研究
- ・ 第三教程における所長所見の導入と修了後の経年評価の実施に向けての研究

(3) コミッショナー任務別研修の研究

コミッショナーの任務に合わせた研修内容を構築し、任務に合わせた支援を進めることができる能力を向上させるための研修内容を研究した。

- ・ コミッショナー任務別研修（地区、団）

(4) トレーナー制度の改革（資質向上のための育成方法の研究）

日本連盟トレーニングチームの役務内容を再確認し、チーム員各々の資質が向上する体制の構築を行う。

- ・ トレーナーの再任用
- ・ トレーナーコースの研修内容の充実
- ・ 実修所所長研修の開催（課題研究、実務訓練の内容の研究）
- ・ 県連盟ディレクター研修会の実施
- ・ 個別支援の進め方の研究
- ・ 各ブロックにおけるトレーナー育成に向けての課題への研究

2. 指導者の質を高めるため指導者養成体制の充実を図る

(1) 指導者訓練体系に基づく各種訓練の実施（令和6年12月末現在）

令和6年12月現在の定型訓練開設状況は以下の通り。ウッドバッジ実修所、団委員実修所の開設状況は別表参照。

- 1 ボーイスカウト講習会（各地）
- 2 ウッドバッジ研修所 スカウトコース 34コース
基本型 34コース、一括型 1コース
- 3 ウッドバッジ研修所 課程別研修（一括型開設分を含む）
BVS課程34回、CS課程37回、BS課程37回、VS課程28回
- 4 団委員研修所（11コース）
- 5 コミッショナーベーシックトレーニング（4コース）
- 6 コミッショナー任務別研修 地区コミッショナー課程（5コース）
- 7 コミッショナー任務別研修 県連盟コミッショナー課程
- 8 ウッドバッジ実修所第二教程（6コース）
BVS課程1コース、CS課程2コース、BS課程2コース、
VS課程1コース
- 9 団委員実修所第二教程（2コース）
- 10 ウッドクラフトコース（2コース）
- 11 スキルトレーニングの実施（各地）

(2) 日本連盟トレーニングチームの充実（トレーナー訓練の開設）

参加者が本連盟の訓練方針と訓練体系を理解・受容し、各種の指導者訓練を行う技能を修得することを目的として開設した。リーダートレーナーコースにおいては現代的手法に関する訓練開発の内容を充実させた。副リーダートレーナーコースにおいてはウッドバッジ研修所所長・団委員研修所所長としてのセッション運営についての資質の向上を目指したものとした。

リーダートレーナーコース第43期

期 間：令和6年10月10日（水）
～14日（月）

場 所：那須野営場

履修者：13県連盟19人

副リーダートレーナーコース第68期

期 間：令和6年10月10日（水）
～14日（月）

場 所：那須野営場

履修者：16県連盟29人

令和6年度日本連盟主催指導者訓練開設状況

1. ウッドバッジ実修所

課 程	期 数	期 間	場 所	開設担当	履修者
B V S	第 48 期	5 / 3 (金) ~ 5 / 6 (月)	新城・吉川野営場	愛知連盟	10 県連盟 25 人
C S	第 179 期	4/27(土) ~ 4/30(火)	御胎内清宏園	神奈川連盟	7 県連盟 19 人
	第 180 期	10/12(土) ~ 10/15(火)	滋賀連盟 浅柄野営場	滋賀連盟	7 県連盟 20 人
B S	第 207 期	5/2(木) ~ 5/6(月)	那須野営場	埼玉県連盟	12 県連盟 29 人
	第 208 期	5/2(木) ~ 5/6(月)	キャンプおおさか	大阪連盟	3 県連盟 9 人
V S	第 33 期	5/2(木) ~ 5/6(月)	ボーイスカウト 浜松太田山野営場	静岡県連盟	9 県連盟 24 人

6 コース 22 県連盟 126 人
 (参考：令和5年度：5コース 23 県連盟 118 人)

2. 団委員実修所

期 数	期 間	場 所	開設担当	履修者
第 35 期	10/12(土) ~ 10/14(月)	岐阜市少年自然の家	岐阜県連盟	7 県連盟 17 人
第 36 期	11/2(土) ~ 11/4(月)	群馬県青少年会館	群馬県連盟	8 県連盟 24 人

2 コース 15 県連盟 41 人
 (参考：令和5年度：3コース 16 県連盟 55 人)

以上

令和7年度指導者養成関係事業の取り組み予定（案）

1. 隊・団指導者への支援を効果的に展開する

すべての成人指導者が、知識・技能・心構えの向上を目指し、スカウト活動の活性化に繋がる効果的な支援を促進するために、社会の変化に合わせた成人のライフサイクルの適切な運用を目指し、以下の施策に取り組む。

(1) スカウト運動の成人に関する方針、指導者に関する指針に基づいた訓練体系におけるコース後の評価方法の研究

- ・ コース参加後の経年経過に伴う研修効果の評価方法の研究
- ・ 更新研修の導入を検討

(2) ① 隊・団指導者の必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、ボーイスカウト活動の楽しいプログラム展開をすべての部門において展開できるよう、指導者への支援と指導者自身が必要としている支援の強化を進める。

- ・ ウッドバッジ研修所課程別研修の内容を検討（リーダーハンドブックに合わせた研修内容）
- ・ ローバースカウト隊の指導者訓練の内容の研究

(2) ② 団組織の強化推進に必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、団運営の理解と任務中の支援を理解し、団内指導者への直接的な支援を行えるよう、団委員長への支援強化を進める。

- ・ 団委員研修の内容の検討
課題研修、課題研究における全団調査の活用方法の研究

(3) 定型訓練の一部モジュール化に向けての研究

定型訓練、スキルトレーニング等におけるeラーニングを活用した研修内容の導入に向けて、eラーニング化できる内容についての研究を進める。

- ・ 定型訓練におけるセッションのeラーニング、オンライン研修化の研究
- ・ スキルトレーニング用の資料としてのeラーニング教材の研究

(4) コミッショナートレーニングの研究と整備

- ・ コミッショナーベーシックトレーニング、任務別研修の改善
- ・ 任務別研修団担当コミッショナー課程の研究

(5) トレーナー育成のための研究と更新研修

日本連盟トレーニングチームの役務内容を再確認し、チーム員各々の資質が向上する体制の構築を行う。

- ・ トレーナーの再任用
- ・ トレーナーの育成訓練と更新研修の研究
- ・ 上級訓練における次期所長・主任の育成
- ・ 県連盟ディレクターとの協働

2. 指導者訓練の実施

指導者訓練体系に基づく各種訓練を実施する。

- 1 ボーイスカウト講習会（eラーニング併用半日型、一日型）
- 2 ウッドバッジ研修所 スカウトコース、課程別研修
- 3 団委員研修所
- 4 コミッショナーベーシックトレーニング、任務別研修
- 5 ウッドバッジ実修所
- 6 団委員実修所
- 7 ウッドクラフトコース
- 8 スキルトレーニングの推進

※ 1～7の開設予定は、日本連盟ホームページに掲載します。

3. 日本連盟トレーニングチームの充実

指導者訓練を支えていく日本連盟トレーニングチームの充実を図るために、以下の施策に取り組む。

（1）日本連盟トレーニングチームの一員としての自覚

リーダートレーナー、副リーダートレーナーの役割を再確認し、トレーニングと支援（サポート）の違いを明確に実践できるトレーナーを育成する。

（2）各県連盟の協力のもと、トレーナー研究集会の実施

各ブロックや県連盟におけるトレーニングについての課題を解決するために連携をより強め、県連盟間で協力してトレーナーの資質向上と育成を進める。

（3）トレーナー訓練の開設

A I Sに基づくこれから必要とされる訓練提供のためのトレーナー養成に係るカリキュラムを検討する。

- ・ リーダートレーナーコース第44期（那須野営場）
- ・ 副リーダートレーナーコース第69期（那須野営場）

（4）新任トレーナーを養成する

- ・ 新任ALT研修会（東西2会場：令和7年6月予定）

令和7年度日本連盟主催指導者養成事業（訓練・会議）予定一覧

1. ウッドバッジ実修所

課程	期数	期間	場所	開設担当
BVS	第49期	5/3(土)～5/6(火)	キャンプおおさか (大阪府枚方市)	大阪連盟
CS	第181期	4/26(土)～4/29(火)	新城・吉川野営場 (愛知県新城市)	愛知連盟
	第182期	11/1(土)～11/4(火)	日向野営場 (千葉県山武市)	東京連盟
BS	第209期	5/2(金)～5/6(火)	日本連盟 那須野営場 (栃木県那須塩原市)	北海道・東北B 担当：青森県連盟
	第210期	5/2(金)～5/6(火)	大阪府立少年自然の家 (大阪府貝塚市)	和歌山連盟
VS	第34期	4/25(金)～4/29(火)	日本連盟 那須野営場 (栃木県那須塩原市)	埼玉県連盟

2. 団委員実修所

期数	期間	場所	開設担当
第37期	11/22(土)～11/24(月)	MOA大仁研修センター (静岡県伊豆の国市)	静岡県連盟

3. ウッドクラフトコース

期数	期間	場所	開設担当
第6期	10/30(木)～11/4(火)	日本連盟 那須野営場 (栃木県那須塩原市)	日本連盟

4. トレーナーコース

リーダートレーナーコース第44期 10月9日(木)～10月13日(月) 那須野営場
副リーダートレーナーコース第69期 9月19日(金)～9月23日(火) 那須野営場

5. 各種会議・研修

<令和7年度ディレクター研修会>

令和7年12月6日(土)～7日(日)・・・国立オリンピック記念青少年総合センター

<令和8年度ウッドバッジ実修所・団委員実修所 所長研修・所長主任所員会議>

令和8年1月24日(土)～25日(日)・・・国立オリンピック記念青少年総合センター

<令和7年度トレーナー研究集会>

令和8年2月1日(日)～2月23日(月)の間

<新任ALT研修会>

令和8年7月 東西2会場(予定)で開催

以上



ウッドバッジ実修所 第三教程（実務訓練）資料：3

ビーバースカウト課程

実務訓練は、ウッドバッジ実修所の第二教程(基本訓練)を終えたあと、履修者が、どのように隊の指導をしたか、その状況をありのままに報告するものです

したがって、第一教程（課題研究）や第二教程で得たものが、隊の運営にどのように反映し、隊活動がどのように改善されたか、また配慮した結果、隊活動がどのように変化し、進歩したかについて記録することです。

自分の隊をよくするために、どのように努力したのか、あなたの実践した記録をまとめ、自己評価とあわせて報告してください。

<課 題>

課題 1 基本訓練で作成した隊集会プログラムを含み、計3回の隊集会実施計画書を作成して実施し、その状況の報告と評価及び今後の改善点について報告してください。

課題 2 基本訓練でリストアップした「自隊の課題」について、コミッショナーやトレーナーの支援を受けながら改善計画を立案してください。また、その取り組み状況と評価を報告してください。

課題 3 上記の課題を行う過程において実施したプログラムについて、保護者や地域社会にアプローチした内容と結果を報告してください。

以上、第二教程履修後の実務訓練を、コミッショナーやトレーナーの支援を受けながら報告書を取りまとめ、実績を立証する記録資料（**作成物や活動状況の写真など**）を添付して、**第二教程履修日から1ヶ年以内に、所属県連盟**へ提出してください。

<注意事項>

1. 報告書は、A4判横書きに記し、表紙（様式1）をつけ課題ごとに問題を記述します。とじ方は、左とじとします。
2. 実務訓練報告書の提出先は、所属県コミッショナー宛として、県連盟事務局へご提出ください。**履修認定の前に、当該実修所所長の内容回覧および所見の記入が手順として追加されましたので、提出期限は十分にご留意ください。**
3. 提出期限までに、実務訓練報告書を提出することが**原則です**。

第二教程履修日から2ヶ年間経過した場合は、ウッドバッジ実修所の修了が認定されません。

（課題研究・基本訓練履修認定は、それぞれ履修日から2年間で失効します。）

実務訓練履修認定手順と書式について

第二教程履修者が、支援を受けながら実務訓練に取り組めるようにするために、支援がより明確に受けられる流れになっています。

支 援

1. 実務訓練の取り組み時の支援

基本訓練履修者は、コミッショナーやトレーナーの支援を受け、実務訓練に取り組めます。

2. 報告書の完成時の支援

支援者(コミッショナーやトレーナー)に「指導助言した事項および所感」を表紙(様式1)に記入していただきます。

3. 報告書完成後の支援

- ① 実修所所長の確認と所見を表紙(様式1)に記入していただきます。
- ② 県コミッショナーの所見を表紙(様式1)に記入していただき、履修認定を行います。
- ③ 隊指導者上級訓練課程修了者として、今後も自己研修に取り組めます。

実務訓練履修認定手順

手順1：第二教程履修者

- ① 実務訓練報告書(以下、報告書)に表紙(様式1)を添付して、支援者(コミッショナーやトレーナー)に提出し、「指導助言した事項および所感」を記入していただく。
- ② 所感記入後、所属県連盟へ報告書を提出する。

手順2：県連盟事務局

所属県連盟は、日本連盟事務局へ報告書を送付する。

手順3：日本連盟事務局

日本連盟事務局は、実修所所長へ報告書を送付する。

手順4：実修所所長

実修所所長は、報告書の内容の確認と所見を記入する。その後、日本連盟事務局へ送付する。

手順5：日本連盟事務局

報告書を所属県連盟の県コミッショナーに送付し、所見の記入と第三教程履修認定を受ける。

手順6：県コミッショナー

報告書に所見を記入し、履修認定(様式1へ署名)を行い、県連盟事務局へ送付する。

手順7：県連盟事務局

- ① 県コミッショナーの所見と第三教程履修認定署名を確認し、日本連盟事務局へ様式1のコピーを送付する。
- ② 提出された様式1の原本は報告書とともに県連盟事務局で一時的に保管する。

手順8：日本連盟事務局

- ① 県連盟事務局より提出された様式1のコピーに必要な要件が記入されていることを確認し、修了証を交付する。初めて隊指導者上級訓練を修了した者にはウッドバッジ2ビーズ、ギルウェルウォグル、ギルウェルスカーフを同送する。
- ② 提出された様式1のコピーは日本連盟で保管する。
- ③ 実修所所長に当該履修者が修了認定されたことを通知する。

手順9：県連盟事務局

- ① 履修者に対して、修了認定されたことを通知(文書は日本連盟事務局が発行)する。
- ② 修了者へ修了証およびウッドバッジ他を伝達する。
- ③ 修了者へ様式1と報告書を返却する。今後の自己研鑽のための資料として大切に保管する。

実務訓練履修認定手順<フロー>

第二教程履修者および県連盟 (事務局、県コミッショナー)	日本連盟事務局	実修所所長
<p>手順1：第二教程履修者</p> <p>① 実務訓練報告書を作成、表紙（様式1）を添付して、支援者に助言を受ける。</p> <p>② 報告書を所属県連盟事務局へ提出する。</p> <p>手順2：県連盟事務局</p> <p>① 報告書の原本、表紙（様式1）の添付を確認し、日本連盟事務局へ送付する。</p> <p>手順6：県コミッショナー</p> <p>① 実務訓練内容を確認し、所見を記載、表紙（様式1）へ署名し、履修認定を行う。</p> <p>② 内容物一式を県連盟事務局へ送付する。</p> <p>手順7：県連盟事務局</p> <p>① 所見内容および履修認定を確認し、表紙（様式1）をコピー、原本を保管する。</p> <p>② 表紙（様式1）を日本連盟事務局へ送付する。</p> <p>※ データをメール送付 ※ 様式1の原本は、報告書とともに、県連盟事務局で保管する。</p> <p>手順9：県連盟事務局</p> <p>① 履修者に対して、修了認定されたことを通知する。</p> <p>② 履修者あため修了者に対して、修了証（初めての場合はWBセット）を伝達する。</p> <p>③ 事務局は、実務訓練報告書を本人へ返却する。</p>	<p>手順3：日本連盟事務局</p> <p>① 必要資料の内容を確認し、当該実修所所長宛に送付する。 ※ 報告書原本を送付</p> <p>手順5：日本連盟事務局</p> <p>① 必要資料の内容を確認し、履修者の所属県連盟の県コミッショナー宛に送付する。</p> <p>手順8：日本連盟事務局</p> <p>① 表紙（様式1）の必要事項を確認し、修了証を交付する。 ※ 初めて、上級訓練を修了した者には、WBセットを送付する。</p> <p>② 提出された様式1のコピーは日本連盟で保管する。</p> <p>③ 実修所所長に、履修者が修了認定されたことを通知する。</p>	<p>手順4：実修所所長</p> <p>① 実務訓練内容を確認し、所見を記載する。</p> <p>② 内容物一式を日本連盟事務局へ返送する。</p>

提出期限：第二教程履修日から1年

<様式1(A4判)>

ウッドバッジ実修所第三教程（実務訓練）

ビーバースカウト課程第 期

所 属	連 盟 第 団 隊 (役 務) _____									
登 録 番 号										
フリガナ 氏 名										
住 所	〒 _____ TEL : _____									

課題	指導助言した事項および所感	指導した人
1		
2		
3		

実修所所長の所見

年 月 日
署 名 _____

県コミッショナーの所見・履修認定

年 月 日
署 名 _____

※県コミッショナーの履修認定後、本状コピーを日本連盟事務局へお送りください。

※日本連盟処理欄	修了年月日 年 月 日
----------	----------------

2022年	BVS46日本		CS175静岡		CS176兵庫		BS202千葉		BS203大阪		BS204埼玉		VS32福岡		団実30神奈川		団実31福島	
所長	平田恭一(東京)		川口 洋(大阪)		高村義則(山口)		栗田哲郎(神奈川)		護摩所 颯(埼玉)		川口明宏(大阪)		吉野博樹(愛知)		和合治幸(福島)		佐藤武信(東京)	
県連盟	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了
北海道																		
青森県																		
岩手																		
宮城県																		
秋田県																		
山形県																		
福島	2	1															7	5
茨城県	1	1															1	1
栃木県					1	1					1	1						
群馬県																		
埼玉県	3	3									8	7	1	1				
千葉県	1	1	2	2			3	3							1	1		
神奈川			1	1			2	2					2	2	4	2		
山梨							2	2										
東京	4	3			3	3					7	6			2	1		
新潟																		
富山県																		
石川県																		
福井											1	1						
長野県							1	1										
岐阜県									1	1								
静岡県	2	2	4	4			5	5							1	1		
愛知			3	3	2	2	2	2	3	3	1	1	3	3	2	2	3	1
三重			1	1														
滋賀											1	1						
京都									2	2	1	1			1	1		
兵庫	2	2			7	6			1	1			2	2	1	1		
奈良県	1	1	1	1					3	3			1	1	1	0		
和歌山																		
大阪	1	1			2	2			5	4	2	2					1	1
鳥取																		
島根																		
岡山																		
広島県																		
山口県					1	1							1	1				
徳島																		
香川																		
愛媛県																	1	1
高知県																		
福岡県													6	5				
佐賀県													1	1				
長崎県													1	1				
熊本県													1	1				
大分県																		
宮崎																		
鹿児島県																		
沖縄																		
合計	17	15	12	12	16	15	15	15	15	14	22	20	19	18	13	9	13	9

…第三教程未修了があった

2023年	BVS47日本		CS177千葉		CS178京都		BS205愛知		BS206兵庫		団実32埼玉		団実33大阪		団実34愛知	
所長	前田 幸(神奈川)		阪井信也(和歌山)		高村義則(山口)		黒田達也(奈良)		池田君松(北海道)		山領正太(福島)		熊谷 豊(千葉)		鶴飼明宏(愛知)	
県連盟	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了	履修	修了
北海道			1	1					2	2						
青森県																
岩手			1	1												
宮城県			1	0					1	1	1	1				
秋田県																
山形県																
福島											1	1				
茨城県	2	2	3	3												
栃木県																
群馬県																
埼玉県	1	1	3	1							11	4	1	0		
千葉県	1	1	3	0							1	0				
神奈川	1	1							1	1	1	1				
山梨											1	1				
東京	4	1	1	0	1	1	6	2	5	0	5	3	1	0		
新潟																
富山県																
石川県																
福井	1	0	1	0												
長野県								1	0			1	0			
岐阜県			1	1				1	0							
静岡県	4	2	2	2				3	2							
愛知	4	4	1	1	1	1	26	8	1	0			5	2	1	0
三重																
滋賀													1	0		
京都	1	0			1	1			1	0						
兵庫	1	1			4	1			7	2	1	0	3	2		
奈良県					1	0	2	1	1	1						
和歌山									1	1						
大阪	1	0			2	1	1	1	2	1			9	3		
鳥取																
島根																
岡山							2	0							1	0
広島県																
山口県																
徳島																
香川																
愛媛県	1	1			1	1	1	1								
高知県																
福岡県					1	0									7	0
佐賀県																
長崎県																
熊本県					1	0									1	0
大分県															2	0
宮崎																
鹿児島県																
沖縄																
合計	22	14	18	10	13	6	43	15	22	9	23	11	20	7	12	0

令和6年度トレーナー研究集会 研究テーマ

研究内容の設定趣旨

現在、「新たな100年に向けての挑戦」として第3期中長期計画（2023年度～2032年度）に沿った方針や施策を進めている状況です。その中で、トレーナーが果たすべき役割に「スカウティングを支える成人を増やし支援する取り組み」を推進することが求められています。社会を取り巻く急激な環境の変化に合わせたトレーニングを研究していかなければなりません。

そこで、今年度のトレーナー研究集会では「成人へのトレーニングの効果を高める」ために課題研究などの支援の進め方の研究、「安定した継続性のあるトレーニングの提供」のための地域ごとのトレーナー育成などの課題解決に向けての研究について研究することとします。

テーマ①：「『課題研究』等の支援（訓練）の進め方と課題研究『支援の手引き』の研究」

（研究のポイント）

- ・ 実修所の各セッションと課題研究とのつながりの確認
- ・ 実修所の教育効果を高めるための課題研究に対する支援の進め方の検討
- ・ 支援トレーナーとしての「支援の手引き」の活用方法の研究
- ・ 「支援の手引き」の改定に向けての研究

テーマ②：「ブロック内におけるトレーナーの資質向上のための研究」

（研究のポイント）

- ・ ブロック内で考えたトレーナーの資質向上のための課題についての研究
- ・ ブロックとしてのトレーナー育成における課題解決のための研究

以上

トレーナーとしての「訓練」と「任務中の支援」の理解

日本連盟ディレクターチーム

自動車の運転で考えてみましょう。

自動車：隊や団の運営

運転者：成人指導者

目的地：より良き青少年の育成

自動車を運転するためには・・・。

自動車学校に入って、交通法規、運転技術、運転者としての心構えを学びます。

交通法規：スカウティングの目的、原理、方法（スカウティングの本質的特徴）

運転技術：隊のプログラムの立案方法、団の運営、スカウトスキル、青少年の特性など

心構え：指導者としての役割と責務、スカウティングへの取り組み方、スカウトへの接し方など

これらは、確実に身につけてもらわなければならないものです。理解してできるようにならないといけないことでもあります。これらをしっかりと指導者訓練（定型訓練、定型外訓練）で学んでもらいます。

（訓練には、教育的効果・成長が求められます。）この部分を主としてトレーナーが担当します。

でも、運転技術だけを身につけても、進むべき目標を見失って道に迷うかもしれません。そこで、道に迷わないようにするためにナビゲーションがあると助かります。ナビを利用することで苦勞したり不安に感じたりせずに目的地に向かうことができるのかと思います。

つまり、

ナビゲーションシステム：コミッショナー、団や地区の先輩指導者、外部の専門家など

ナビゲーションで得られる情報：スカウティングの知識や考え方、指導に必要なスキル、不安や悩みに対する助言、研修への誘いなど

と考えてもらえたらと思います。

運転者の心理的な不安感を軽減するためにもナビを積極的に活用できるように働きかける必要があります。ナビを使うことで、進むべき道の予測をすることができ、時間配分や休憩などを考えることができます。自分の進んでいる道がずれていないか、必要な情報には何があるのかなどを確認しながら進むことで安心して目的地に向かうことができると思います。ただ、ナビを利用してもその通りに進むかは本人の判断でもあります。時には、ナビとは違う道を選択するかもしれません。そんな時は、違う道に進んだことをナビは理解して、また目的地に向かうための別の道の進み方を示してあげるのもナビの役割になるかと思います。（支援は、教育効果が出るかどうかはわからないものでもある。）

このようなとらえ方で、訓練と任務中の支援を考えてほしいと思います。

「任務中の支援」と「トレーニングにおける支援」について

日本連盟ディレクターチーム

「任務中の支援」は、自動車の運転におけるナビゲーションのようなものと考えていただきたいと説明をしました。

トレーニングにおいても「支援」という言葉が使われます。「個別支援」という表現です。ここでは、「任務中の支援」と「トレーニングにおける支援」との違いを考えていただきたいと思います。

「任務中の支援」については、自動車の運転におけるナビゲーションシステムという理解で、対象の方が道に迷われたり、悩んでしまったときに必要な援助を知識・技能・心構えに関する部分を良い方向（隊や団の運営などを不安なく進めるなど）に導くこととなります。この部分につきましては、「訓練と支援（自動車学校）」でご確認ください。

トレーニングの場面でも「支援」という言葉がよく出てきますが、これと「任務中の支援」とは意味合いが違います。そこを確認してほしいと思います。

自動車学校で考えてみたいと思います。

「トレーニングにおける支援」は、自動車学校の教官と考えてください。教官は、運転技術はもちろんのこと、運転に対する心構えまでを個々の実態に合わせて確実に教えなければなりません。間違った理解や独りよがりの技術などを修正し、正しい運転方法を教え込まなければなりません。それも、運転する人が将来にわたって事故などを起こさないようにするためです。

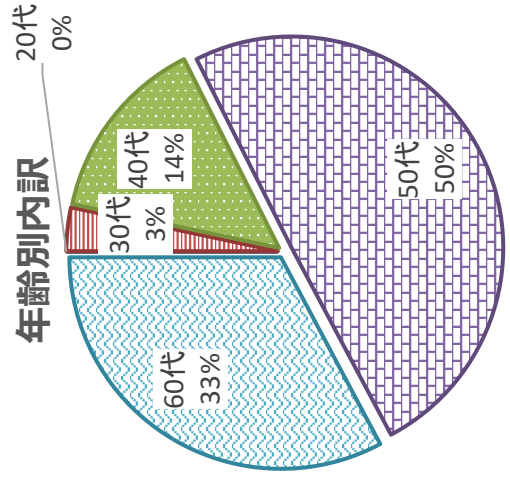
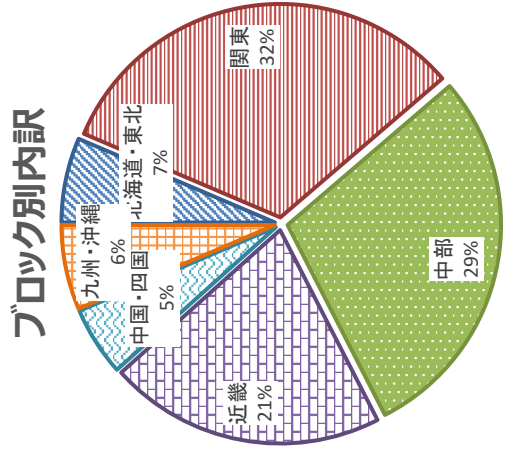
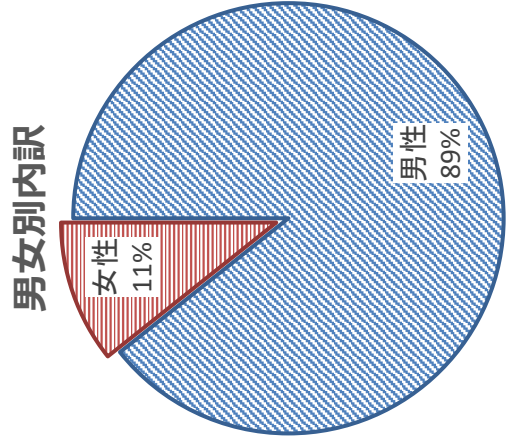
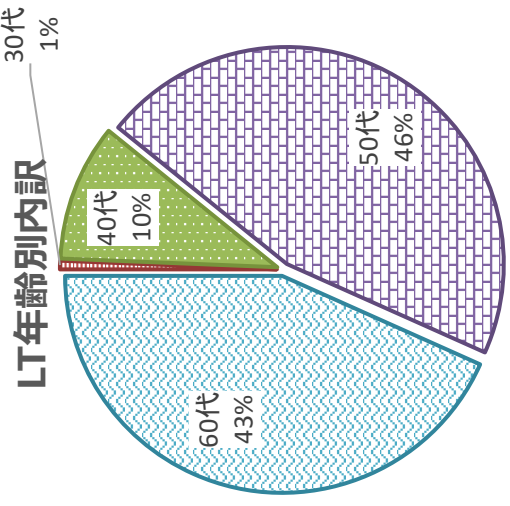
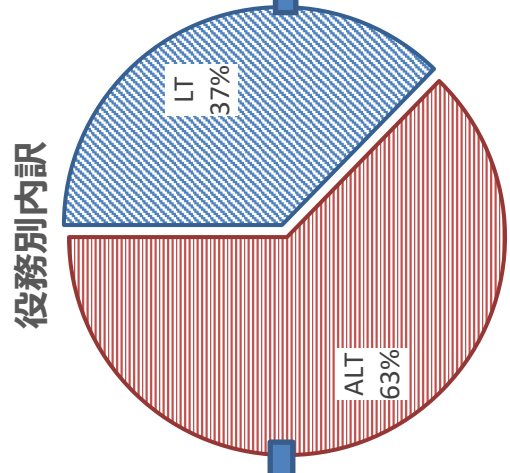
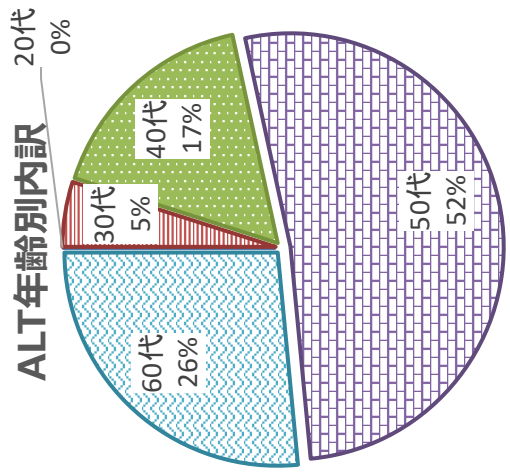
トレーナーは、「自動車学校の教官」です。自らがスカウティングにおける正しい知識とスカウトスキル、指導者としての心構えを身に付けた状態で参加者に指導しなければなりません。それが、トレーナーの重要な役割です。課題研修、課題研究、実務訓練などの個別支援は、「支援」というより「指導」という部分が大きくなります。対象者の状況（特性や取り巻く環境など）を確実に把握し、対象者に合わせた「支援」という名の「指導」を行わなければなりません。そして、その支援によって対象者に確実に指導者として必要な知識や技術や心構えを身につけてもらわなければなりません。「任務中の支援」での支援は、対象者が支援者の意図した状況にはならない場合（自動車の運転の例を参照）もあると思いますが、「トレーニングにおける支援」は確実に力を身につけてもらわなければなりません。結果が求められるということです。つまり、スカウトスキルの獲得する（知っているだけでなく、体験して使える状態になっている。）、課題研修などにおける課題について解決策などを考え、自己の考えをまとめた成果物を確実に理解して提出するなどの成果を出してもらうということです（提出してもらえばよいというのではなく、内容も確実に理解できていることが重要です）。

このように「任務中の支援」と「トレーニングにおける支援」は違います。その点を十分に理解して、トレーナーとして個別支援に取り組んでください。

【参考資料】

- ・ 日本連盟トレーナー年齢別一覧（令和7年1月1日現在）
- ・ 日本連盟トレーナー内訳グラフ（令和7年1月1日現在）
- ・ 令和6年度隊・団指導者上級訓練第二教程
および成人指導者訓練コース基本訓練履修状況
- ・ 加盟登録状況表（令和6年12月31日現在）

日本連盟トレーナー内訳グラフ (令和6年1月1日現在) ※休務者を除く



令和6年度

隊・団指導者上級訓練／成人指導者訓練コース履修状況

(1) 隊指導者上級訓練課程「ウッドバッジ実修所」

2024.12.21 現在

課 程	B V S 課 程			C S 課 程					
	愛知連盟			神奈川連盟			滋賀連盟		
開 設	第 48 期			第 179 期			第 180 期		
期 数	5/3～5/6			4/27～4/30			10/12～10/15		
期 間	新城・吉川野営場			御胎内清宏園			滋賀連盟 浅柄野野営場		
場 所	新谷 浩 朗			富 永 和 也			阪 井 信 也		
所 長	太 田 尚 宏			榆 原 仁			福 住 雅 裕		
主任所員	8 人			8 人			8 人		
所 員	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道									
青 森									
岩 手									
宮 城									
秋 田									
山 形									
福 島									
茨 城				1		1			
栃 木									
群 馬									
埼 玉	1		1	1		1	2	2	4
千 葉							1		1
神奈川	1		1	6	4	10			
山 梨									
東 京	2	1	3	2	1	3	4	1	5
新 潟									
富 山									
石 川							2		2
福 井									
長 野									
岐 阜	2	1	3						
静 岡	1	1	2	2		2	1		1
愛 知	8	2	10	1		1	3	1	4
三 重		1	1						
滋 賀							2	1	3
京 都									
兵 庫									
奈 良	1	1	2						
和歌山									
大 阪		1	1						
鳥 取									
島 根									
岡 山									
広 島									
山 口									
徳 島									
香 川									
愛 媛									
高 知									
福 岡		1	1		1	1			
佐 賀									
長 崎									
熊 本									
大 分									
宮 崎									
鹿 児 島									
沖 縄									
合 計	16	9	25	13	6	19	15	5	20
	10 県連盟			7 県連盟			7 県連盟		

課 程	B S 課 程						V S 課 程			小 計			前 年 度 履 修 者 数
	埼 玉 県 連 盟			大 阪 連 盟			静 岡 県 連 盟						
開 設 期 数	第 207 期			第 208 期			第 33 期						
期 間	5/2~5/6			5/2~5/6			5/2~5/6						
場 所	那 須 野 営 場			キ ャ ン プ お お さ か			ボ ー イ ス カ ウ ト 浜 松 太 田 山 野 営 場						
所 長	鈴 木 昌 子			池 田 君 松			山 本 哲						
主 任 所 員	安 居 祐 治			高 崎 浩 太 郎			高 橋 聖						
所 員	9 人			8 人			9 人						
履 修 者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北 海 道	1		1							1		1	3
青 森													
岩 手													1
宮 城							1		1	1		1	2
秋 田													
山 形													
福 島													
茨 城	2	1	3							3	1	4	5
栃 木	2		2							2		2	
群 馬	1		1							1		1	
埼 玉	5	3	8				1		1	10	5	15	4
千 葉										1		1	4
神 奈 川	1	1	2				3		3	11	5	16	2
山 梨													
東 京	5	2	7				4	1	5	17	6	23	17
新 潟	1		1							1		1	
富 山													
石 川										2		2	
福 井							1		1	1		1	2
長 野													1
岐 阜	1		1							3	1	4	2
静 岡	1		1				6	1	7	11	2	13	9
愛 知	1		1				4		4	17	3	20	33
三 重							1		1	1	1	2	
滋 賀										2	1	3	
京 都													3
兵 庫	1		1				1		1	2		2	12
奈 良				1		1				2	1	3	4
和 歌 山													1
大 阪				4	3	7				4	4	8	6
鳥 取													
島 根													
岡 山													2
広 島				1		1				1		1	
山 口													
徳 島													
香 川													
愛 媛													3
高 知													
福 岡											2	2	1
佐 賀													
長 崎													
熊 本													1
大 分													
宮 崎													
鹿 児 島													
沖 縄													
合 計	22	7	29	6	3	9	22	2	24	94	32	126	118
	12 県 連 盟			3 県 連 盟			9 県 連 盟			22 県 連 盟			

(2) 団指導者上級訓練課程「団委員実修所」

開設	岐阜県連盟			群馬県連盟			小計			前年度履修者数
	期数	第 35 期		期数	第 36 期					
期間	10/12~10/14			11/2~11/4						
場所	岐阜市少年自然の家			群馬県青少年会館						
所長	佐藤武信			富田昭則						
主任所員	藤田俊郎			熊谷豊						
所員	8 人			8 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北海道										
青森										
岩手										
宮城				2		2	2		2	1
秋田										
山形										
福島										1
茨城										
栃木										
群馬				9	1	10	9	1	10	
埼玉				2		2	2		2	12
千葉										1
神奈川				4		4	4		4	1
山梨										1
東京				1	1	2	1	1	2	6
新潟				2		2	2		2	
富山										
石川	1		1				1		1	
福井				1		1	1		1	
長野										1
岐阜	9		9				9		9	
静岡	1		1				1		1	
愛知	2		2				2		2	6
三重										
滋賀										1
京都	1		1				1		1	
兵庫	2		2				2		2	4
奈良										
和歌山				1		1	1		1	
大阪	1		1				1		1	9
鳥取										
島根										
岡山										1
広島										
山口										
徳島										
香川										
愛媛										
高知										
福岡										7
佐賀										
長崎										
熊本										1
大分										2
宮崎										
鹿児島										
沖縄										
合計	17		17	22	2	24	39	2	41	55
	7 県連盟			8 県連盟			15 県連盟			

(3) ウッドクラフトコース

開設	兵庫連盟			福岡県連盟			小計			前年度履修者数
	期数	第4期		期数	第5期					
期間	9/21~9/26			10/30~11/4						
場所	ろくろしの森キャンプ場			福岡県連盟 脇山野営場						
C D	藤田五郎			坂口亮二						
隊長	高田真志			井口雅公						
所員	9人			9人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北海道										
青森										
岩手										
宮城										1
秋田										
山形										
福島										
茨城										
栃木										
群馬										
埼玉	1		1				1		1	
千葉										
神奈川										1
山梨	1		1				1		1	
東京	2		2	2		2	4		4	2
新潟										
富山										
石川										
福井	1		1	1		1	2		2	1
長野										1
岐阜										
静岡										1
愛知										
三重										
滋賀										
京都										
兵庫	3		3				3		3	7
奈良										
和歌山										1
大阪	2		2				2		2	7
鳥取	1		1				1		1	
島根										
岡山										
広島										
山口				1		1	1		1	
徳島										
香川										
愛媛										
高知										
福岡				5	1	6	5	1	6	1
佐賀				1		1	1		1	
長崎										
熊本										
大分										1
宮崎										
鹿児島										
沖縄										
合計	11		11	10	1	11	21	1	22	24
	7 県連盟			5 県連盟			10 県連盟			

(4) 成人指導者訓練コース

コース名	副リーダー・トレーナーコース			リーダー・トレーナーコース			小計			前年度履修者数
	期数	第 68 期		期数	第 43 期					
期間	10/10~10/14			10/10~10/14						
場所	那須野営場			那須野営場						
C D	石原 有紀子			藤田 五郎						
C S	池田 君松			脇田 大輔						
所員	10 人			9 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北海道										
青森										
岩手										
宮城										
秋田										
山形										
福島				1		1	1		1	1
茨城										1
栃木										1
群馬										
埼玉	1	2	3	3		3	4	2	6	2
千葉	1		1	1		1	2		2	3
神奈川	3		3				3		3	1
山梨				1		1	1		1	1
東京	1	1	2	1		1	2	1	3	2
新潟										
富山										
石川										2
福井										
長野				1		1	1		1	
岐阜	1		1				1		1	1
静岡	2		2	2		2	4		4	2
愛知	3		3	3		3	6		6	4
三重	1		1				1		1	
滋賀										1
京都	1		1	1		1	2		2	2
兵庫		2	2	1		1	1	2	3	4
奈良	3		3		1	1	3	1	4	
和歌山	1		1				1		1	1
大阪	2		2	1	1	2	3	1	4	1
鳥取										
島根										
岡山	1		1				1		1	1
広島										
山口										
徳島										
香川	2		2				2		2	
愛媛										
高知										
福岡	1		1	1		1	2		2	
佐賀										
長崎										
熊本										2
大分										
宮崎										
鹿児島										
沖縄										
合計	24	5	29	17	2	19	41	7	48	33
	16 県連盟			13 県連盟			19 県連盟			

加盟登録状況表

令和6年12月31日現在

	現在数	前年同月末	増 減	前年同月比	前年度末数	増 減	前年度比
加盟員総数	74,110	77,384	-3,274	95.77%	77,780	-3,670	95.28%
スカウト数	42,448	44,497	-2,049	95.40%	44,800	-2,352	94.75%
ビーバースカウト数	6,417	7,286	-869	88.07%	7,482	-1,065	85.77%
カブスカウト数	13,601	13,915	-314	97.74%	13,982	-381	97.28%
ボーイスカウト数	11,429	11,924	-495	95.85%	11,939	-510	95.73%
ベンチャースカウト数	5,151	5,368	-217	95.96%	5,387	-236	95.62%
ローバースカウト数	5,850	6,004	-154	97.44%	6,010	-160	97.34%
指導者数	18,374	19,031	-657	96.55%	19,039	-665	96.51%
ビーバー隊指導者数	3,535	3,666	-131	96.43%	3,680	-145	96.06%
カブ隊指導者数	6,351	6,453	-102	98.42%	6,458	-107	98.34%
ボーイ隊指導者数	4,686	4,933	-247	94.99%	4,930	-244	95.05%
ベンチャー隊指導者数	2,286	2,385	-99	95.85%	2,380	-94	96.05%
ローバー隊指導者数	1,516	1,594	-78	95.11%	1,591	-75	95.29%
団委員数	12,572	13,173	-601	95.44%	13,206	-634	95.20%
役職員数	340	290	50	117.24%	343	-3	99.13%
スカウトクラブ会員数	376	393	-17	95.67%	392	-16	95.92%
女子加盟員数	21,994	22,542	-548	97.57%	22,634	-640	97.17%
女子スカウト数	12,519	12,780	-261	97.96%	12,859	-340	97.36%
女子指導者数	6,365	6,583	-218	96.69%	6,592	-227	96.56%
女子団委員等数	3,110	3,179	-69	97.83%	3,183	-73	97.71%
団 数	1,629	1,692	-63	96.28%	1,695	-66	96.11%
継続団	1,621	1,685	-64	96.20%	1,686	-65	96.14%
新設団	6	5	1	120.00%	6		100.00%
復活団	2	2		100.00%	3	-1	66.67%
継続未了団	71	51	20	139.22%	50	21	142.00%
隊 数	6,612	6,829	-217	96.82%	6,843	-231	96.62%
継続隊	6,370	6,580	-210	96.81%	6,588	-218	96.69%
新設隊	27	46	-19	58.70%	48	-21	56.25%
復活隊	215	203	12	105.91%	207	8	103.86%
ビーバー隊数	1,250	1,305	-55	95.79%	1,311	-61	95.35%
カブ隊数	1,470	1,503	-33	97.80%	1,507	-37	97.54%
ボーイ隊数	1,473	1,535	-62	95.96%	1,536	-63	95.90%
ベンチャー隊数	1,294	1,334	-40	97.00%	1,336	-42	96.86%
ローバー隊数	1,125	1,152	-27	97.66%	1,153	-28	97.57%
スカウトクラブ数	100	105	-5	95.24%	104	-4	96.15%

令和6年度トレーナー研究集会資料集

令和7年1月26日発行



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

〒167-0022

東京都杉並区下井草4-4-3

電話 : 03-6913-6262 (代表)

FAX : 03-6913-6263

E-mail : saj-trainers@scout.or.jp
